



1 成績評価について

試験の結果に基づき、科目担当教員は下表にしたがって成績評価を行う。

| Grade (評価) | 評価基準 | Grade Point (GP) | 合否 |
|------------|--------------------------------------|------------------|-----|
| A+ | 到達目標に達しており、非常に優秀な成績をおさめている | 4 | 合格 |
| A | 到達目標に達しており、優秀な成績をおさめている | 3.67 | |
| B | 到達目標に達しており、良好な成績をおさめている | 3 | |
| C | 到達目標に達している。 | 2 | |
| D | 到達目標に達しているが、習熟を確実にするために再度受講することを推奨する | 1 | |
| F | 到達目標に達していない | 0 | 不合格 |

2 GPA について

(1) GPA (グレード・ポイント・アベレージ) について

本学では、学生が自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学修への取組みに役立つよう、科目の成績評価の平均を数値で表した GPA (Grade Point Average/グレード・ポイント・アベレージの略) を算出している。

GPA は学修の質を評価する成績評価の国際標準となっており、合格した科目だけではなく不合格科目も算出対象となるのが大きな特徴である。したがって、学生には自らの履修 (履修登録を含む) に対して、より真剣に取り組むことが求められる。算出した GPA は、KUPORT (ポートフォリオ/成績照会) に掲載する。

(2) GPAの種類

GPA には、次の 2 種類がある。

- ① 通算 GPA : 入学時から前年度末までの成績評価の平均値
- ② 単年度 GPA : 当該年度の成績評価の平均値

(3) GPAの計算式

①通算 GPA の計算式

通算 GPA =

$$\frac{\{(A+\text{単位数}\times 4)+(\text{Aの単位数}\times 3.67)+(\text{Bの単位数}\times 3)+(\text{Cの単位数}\times 2)+(\text{Dの単位数}\times 1)+(\text{Fの単位数}\times 0)\}}{\text{入学時から成績評価(不合格を含む)が確定した科目の総単位数[同一科目は1回分を算入]}}$$

入学時から成績評価(不合格を含む)が確定した科目の総単位数[同一科目は1回分を算入]

- ・ 計算日時点で成績が確定した科目のみ計算対象とする。
- ・ 小数点以下第3位を四捨五入する。
- ・ 「不合格科目(含未受験科目)」の単位数は分母・分子両方に含む。
- ・ 「再履修・リポートした科目」の評価が、従前より高くなった場合、低い評価の単位数は分母・分子両方から除外し、高い評価のみを分母・分子両方に含む。
- ・ 「再履修・リポートした科目」の評価が、従前より低い、もしくは同じ評価となった場合の単位数は分母・分子両方から除外する。
- ・ 「履修中止した科目」「教職課程の教職に関する科目、学芸員課程の必修科目などの卒業に必要な単位数に算入されない科目」の単位数は分母・分子両方から除外する。

②単年度 GPA の計算式

単年度 GPA=

$$\frac{\{(A+\text{単位数}\times 4)+(\text{Aの単位数}\times 3.67)+(\text{Bの単位数}\times 3)+(\text{Cの単位数}\times 2)+(\text{Dの単位数}\times 1)+(\text{Fの単位数}\times 0)\}}{\text{当該年度に履修登録した総単位数}}$$

当該年度に履修登録した総単位数

- ・ 計算日時点で成績が確定した科目のみ計算対象とする。
- ・ 小数点以下第3位を四捨五入する。
- ・ 「不合格科目(含未受験科目)」「再履修・リポートした科目」「再履修・リポートする前の科目」の単位数は分母・分子両方に含む。
- ・ 「履修中止した科目」「教職課程の教職に関する科目、学芸員課程の必修科目などの卒業に必要な単位数に算入されない科目」の単位数は分母・分子両方から除外する。

(4) GPAの更新時期

①通算 GPA = 毎年度3月31日

②単年度 GPA = 毎年度9月30日及び3月31日

(5) 科目振替時の評価方法

(1) 振替の対象となる科目について

修得科目（合格科目）のみとし、未修得科目は振替の対象としない。

(2) 再振替について

リポート科目の振替済み科目の再振替は行わない。

すべて条件を満たす組み合わせの科目を全て修得し直すことで、改めて科目振替の対象となる。その振替後、同一科目が競合した場合は一般的な科目と同様に最高 GRADE のものを採用する。

(3) 2つ以上の科目の修得することによって、1つの科目に振替を行う場合の取り扱いについて

$\Sigma(\text{GP 値} \times \text{単位数}) \div \text{合計単位数} = \text{GP の平均値}$ (小数点以下第3位四捨五入)

上記により算出された GP の平均値により、下記の表のとおりの評価 (GRADE) および GP 値とする。

算出された GP の平均値による評価 (GRADE) および GP 値

| 算出された GP の平均値 | 評価(GRADE) | GP 値 |
|-------------------|-----------|------|
| 4.00 以上 | A+ | 4.00 |
| 3.67 以上 , 3.99 以下 | A | 3.67 |
| 3.00 以上 , 3.66 以下 | B | 3.00 |
| 2.00 以上 , 2.99 以下 | C | 2.00 |
| 1.00 以上 , 1.99 以下 | D | 1.00 |

(6) 編入学者・再入学者の評価方法

入学前に本学若しくは他大学等で修得し、本学で単位認定された科目の評価は GPA の計算に算入しない。

(※ただし、再入学者のうち、GP 評価されていた科目については算入する。)

3 成績通知について

成績は、KUPORT（ポートフォリオ/成績照会）で確認が行える。

成績発表時期については、KUPORT および掲示をよく確認すること。

保証人に対しては、年2回（9月/3月）、成績通知書を郵送する。ただし、卒業論文着手者に対しての3月の成績通知書の発送は行わないので、注意すること。